

ポンプ車投入、 排水量500万³m。

一刻も早く。



大震災2日後
被災した仙台空港
2011.3.13

仙台空港とその周辺にポンプ車を集中投入、早期に一部復旧へ。

東北の空の玄関として重要な仙台空港も巨大津波に襲われた。

空港ビルは中2階まで浸水、1階部は壊滅状態に。空港内はもとより沿岸部周辺の広いエリアが浸水し、甚大な被害を被った。国土交通省では空港の再生に向け、排水ポンプ車を全国から集中投入。3月17日よりポンプ車25台、24時間体制で排水を開始した。

ポンプ車の台数は延べ約250台・日にも及び、排水した水の量は約500万³mに達する。これは25mのプール、14,000杯分にも相当する。そして被災から約1ヵ月後の4月13日、臨時便での一部就航が開始された。



大震災6日後
仙台空港・排水開始
2011.3.17



大震災13日後
復旧の進む仙台空港
2011.3.24